



ライオンズクラブ国際協会 335-A地区

第63回地区年次大会

第2分科会 委員会現況報告

地区LCIFコーディネーター

地区LCIF委員会

地区YCE・レオ委員会

地区社会福祉委員会

地区ライオンズクエスト委員会

地区青少年健全育成委員会

地区環境保全委員会

地区アラート委員会

地区間交流特別委員会

地区 LCIF コーディネーター 現況報告

地区 LCIF コーディネーター 堀本 雅也

- 2016.8.1. 第一回 335 複合地区 LCIF コーディネーター委員長会議
於:複合事務局
「議題」 どんどん献金交付
バースデーMJF
100 周年、50 周年 継承の件。
- 2016.8.24. 山田理事長公式訪問セミナー開催 於;名古屋マリオットホテル
「議題」 クラブ LCIF コーディネーター 設置と各国献金のあり方。
- 2016.9.26. 地区 LCIF 委員会藤田第一副地区カバナー(全員参加) 於:大阪駅前第 3 ビル エスカイヤクラブ会議室
「議題」 熊本大震災の現状報告
継承の重要性について
LCIF クラブコーディネーター早期設置について。
- 2016.11.1. 第二回 335 複合地区コーディネーター委員長会議 於:複合事務局
「議題」 昨年実績 7%アップ
バースデーMJF の推奨等
全クラブ LCIF 参加、参加率を上げる。
- 2016.11.11～第 55 回東洋東南アジアフォーラム香港
- 2016.11.28. 335 複合地区 LCIF セミナー 於;ポートピアホテル
・ LCIF MD コーディネーター L 北畑英樹 実績体験説明
・ 後援者 LCIF 国際理事エリアコーディネーター榎本奨治《こうして 334A 地区は LCIF 献金を日本一にした》。
- 2017.2.8. A 地区 ZC 会議第 5 回 於:ポートピアホテル
・ 全 ZC が、LCIF 活動を声を高らかに説明報告をされ感動した。
・ LCIF クラブコーディネーターの活躍が大と思われる。
- 2017.2.13. 335 複合地区 LCIF コーディネーター委員長会議 於:複合事務局
「議題」 年次大会アワードに関する件
50 年・100 周年に向けての継承。

地区全員のご協力と地区 LCIF 葛村委員長始め委員会のご協力、MJF の目標をクリアしましたことの御礼を申し上げますとともに次年度に継承することにご協力下さい。

地区LCIF委員会 現況報告

地区LCIF委員長 葛村 和弘

- ◆ 第1回 335 複合地区 LCIF コーディネーター会議
2016年8月1日 16:00~17:30 複合地区ガバナー協議会事務局
複合地区方針の決定『どんどん献金 どんどん交付』『誕生日 MJF』
ライオンズクラブ 100周年、LCIF50周年の継承の年度
- ◆ LCIF 理事長公式訪問並びにセミナー
2016年8月24日 名古屋マリオネットホテル
各クラブコーディネーターの設置と各国の献金の方法について
- ◆ 第1回地区 LCIF 委員会 開催
2016年9月26日 17:00~19:00 エスカイヤークラブ会議室
継承の重要性と熊本大地震の現状、クラブ LCIF コーディネーターの設置
- ◆ 第2回 335 複合地区 LCIF コーディネーター会議
2016年11月1日 16:30~17:30 複合地区ガバナー協議会事務局
昨年度の実績に対し7%アップ、バースデーMJFの推奨、全クラブ LCIF 参加
- ◆ 第55回東洋東南アジアフォーラム LCIF セミナー
2016年11月11日 香港
- ◆ 複合地区 LCIF セミナー 開催
2016年11月28日 14:00~16:00 神戸ポートピアホテル「大輪田の間」
335 複合地区 LCIF コーディネーター L 北畑英樹の意向に基づき実績体験
の説明が中心
「こうして 334-A 地区は LCIF 日本一になった」
講演者：LCIF 国際委員・エリアコーディネーター L 榎本舜治
- ◆ 第3回 335 複合地区 LCIF コーディネーター会議
2017年2月13日 15:30~17:30 複合地区ガバナー協議会事務局
年次大会アワードに関する討議、LCIF50周年そして100周年に向けての継承

LCIF は次年度 50 周年を迎えるにあたり、地区 LCIF コーディネーター L 堀本雅也のもと、伝統ある 335-A 地区ならではの独自の無理無駄のない、全員から愛される LCIF を、地区ガバナー・テーマ「継承」、地区ガバナー・キーワード「検証と前進」からうみだすことが地区 LCIF 委員会の責務であると考えています。ご指導とご協力よろしくお願いいたします。

地区YCE・レオ委員会 現況報告

地区YCE・レオ委員長 植谷 晃一

YCE事業とレオクラブの取り巻く環境を報告致します。

335-A地区レオクラブは現在4クラブ、合計52名で活動しております。

(尼崎レオ15名、神戸レオ10名、神戸セントラル15名、西宮レオ12名、2月末現在)

- 活動内容
- ・月2回の例会
 - ・献血、清掃、盲導犬活動、児童育成キャンプなど。
 - ・スポンサーLCとの合同アクティビティなど様々な活動。
- 今期特長
- ・特に今期は来日YE生との交流が頻繁に行われました。(レオクラブの例会訪問、レオクラブによるホストファミリーの手伝い)
- 問題点
- ・レオクラブ会員数は微増で、会員増強に関しては個の力に頼っているのが現状です。又、今期大学4回生が多いため就職先の配属先次第で活動が困難になる会員が出てくる可能性があります。
- 所感
- ・学生、社会人共々忙し中、活動は全員非常に真意に取り組んでおります。

次にYCE事業の現状を報告いたします。

- 活動内容
- ・冬期派遣生 女子3名 (マレーシア)
 - ・冬期来日生 女子2名 (マレーシア ニュージーランド)
 - 男子1名 (マレーシア)
 - ・春期来日生 男子1名 (タイ)
 - ・夏期派遣生 女子3名 (オーストラリア マレーシア)
 - ・夏期来日生 2月末現在未定
- 問題点
- ・受け入れに関しては同じクラブ、同会員にかたよりすぎています。
 - ・キャビネットより受け入れLCへの予算が必要。
- 今期特長
- ・ホストファミリーに関して三田市国際交流協会との連携が良くとれました。
 - ・21世紀は女性の時代と言われておりますが派遣生は全員女性。
- 所感
- ・国が4000万人の来日を目指している割には地区内のマインドは低いと思われま。

335-A地区ではYCE事業とレオクラブの活動がすべて同じ委員会名で運営されており風通しが非常に良くなっております。335-A地区では夏はB地区、冬はD地区のキャンプを全体でシェアして運営コストを抑え各地区に助かっております。

YCE・レオプログラムは青少年に奉仕の精神と自立をもたらすライオンズクラブの基幹事業でございますのでご理解宜しくお願い致します。

地区社会福祉委員会 現況報告

地区社会福祉委員長 片山 暁

今期、三宮地区ガバナーより地区社会福祉委員長を仰せつかり下記の事項の活動を実施いたしました。

1. 平成 28 年 8 月 31 日 兵庫県赤十字血液センターで「献血研修会」を開催
2. 平成 28 年 10 月 14 日兵庫医科大学平成記念会館にて、さい帯血のチャリティーコンサートを開催
3. 平成 28 年 11 月 20 日神戸市長田区の鉄人広場にて、ライオンズクラブ主催のふれあいフェスタに参加して、来訪者に対してチラシやティッシュを配り、献血活動の啓蒙を実施
4. 平成 28 年 11 月 28 日スペシャルオリンピックス支援・啓蒙の為、「ひょうごトーチラン 2016」が開催され、地区ガバナーL 三宮秀介をはじめ地区役員、ライオンズメンバーが多数参加

5. 平成 29 年 2 月に神戸市（6 日）、尼崎市（13 日）、篠山市（27 日）で、障がい者就労支援及びアイバンクセミナーを開催
障がい者の方々を支援することは当然ですが、支援の仕方の新たな試みとして、就労支援があります。障がい者の方々も援助を受けるだけでなく、自己の持っている能力を生かして、健常者と同じく報酬を得る仕組みを構築する必要があります。

障がい者就労支援の専門家である㈱プロップステーションの竹中ナミ理事長が就労支援についての現況報告と兵庫アイバンク渡邊事務局長からアイバンクの実態をご説明頂きました。

今後のライオンズクラブの活動に影響を与える内容でした。

6. その他

兵庫県赤十字血液センターの協力のもと、毎月地区内の献血予定表を全クラブに発信して、献血活動の啓蒙と周知を実施した。

7. 今後の予定

当初計画していた、新たな献血活動の啓蒙として各クラブのアクティビティに献血活動を組み入れる最初のケーススタディとして、平成 29 年 3 月 19 日しあわせの村で開催される「神戸少年サッカースクールフェスティバル 2017」（神戸中央ライオンズクラブ協賛）に献血活動を組み込みました。

参加者は、保護者を含め約 500 名の参加がありました。

地区ライオンズクエスト委員会 現況報告

地区ライオンズクエスト委員長 秋本 久美子

- ・2016年夏、ライオンズクエストライフスキル教育プログラムワークショップは公募型として尼崎市、宝塚市の学校教諭が26名受講され、また神戸市において校内型として2校の学校教諭全員27名が修了されました。熱心な研修会を開催でき協賛いただきましたクラブ各位には感謝申し上げます。そして猛暑の中、会場にお越しいただいた地区ガバナー、クラブ会長には改めて御礼申し上げます。

1) 芦屋市公募型体験会：7月27日	芦屋東	LC
2) 宝塚市公募型WS；8月1,2日	宝塚	LC
3) 尼崎市公募型WS：8月25,26日	尼崎南	LC
4) 神戸市立六甲アイランド小学校WS：8月22,29日	神戸あじさい	LC
5) 神戸市立和田岬小学校WS：8月29,30日	神戸須磨	LC

- ・2016年11月22日：ライオンズ会員を対象にライオンズクエストの理解とご支援を検討いただけるよう「体験セミナー」を開催いたしました。
- ・2017年3月1日：甲南高等・中学校にて教諭44名参加の「体験会（セミナー）」を芦屋東LCの協賛により開催いたしました。

ライフスキル教育普及の場を私立学校にも広げ、2年前に私学校校長会での資料配布、学校訪問などをさせていただき、この度の「体験会（セミナー）」開催に繋がりました。

当委員会は、各ワークショップ開催の準備、3回の委員会を開き、今後も市教育委員会研修課、公立校、私立校、自治体などの協力を得ながら新規開拓普及の為、335-A地区に徐々に誕生した「ライオンズクエスト説明員」と共に努力してまいります。

クラブ各位の更なるご理解とご協賛をお願い申し上げます。

地区青少年健全育成委員会 現況報告

地区青少年健全育成委員長 平木 博美

1. 薬物乱用防止教育認定講師養成講座

11月16日(水)に50名の参加者を得て開催し、認定講師が誕生しました。各クラブで地域の小中学校での教室開催に向けた交渉を始めていただき、継続的な開催を積極的に進めていただくよう呼びかけていますが、実際に教室開催にこぎつけるのが難しく、参加希望者が減少している原因もそこにあるのではないかと思います。

2. 薬物乱用防止教室開催実績

2016年7月から2017年1月の間には、7クラブが、小学校5校、中学校8校で教室を開催しています。毎年継続して3学期に開講を予定しているクラブもあり、今後まだ開催実績が増えることが期待されます。

6クラブが合同または単独で薬物乱用防止街頭啓発活動に参加しています。

特に、神戸あじさいLCでは、CN25周年記念事業として、プロ劇団によるわかりやすい啓発劇を小学校3校、中学校3校で継続実施されており、大変好評を博しています。

3. 「薬物乱用防止&ネット適正利用ルール」啓発チラシ

この啓発チラシは、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会のご理解とご協力を得て、内閣府、厚生労働省、兵庫県、(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター、仲田歩夢選手の所属するINAC神戸レオネッサにも全面的なご支援をいただき、335A地区内全公立中学校に配付するために12万部作成しました。青少年健全育成のための地域貢献活動として335A地区全クラブで取り組む一つの啓発活動として取り組み、生徒たちが家庭で保護者の皆様と話し合うきっかけになることを願い、各中学校で12月10日までに配付しました。

各クラブから1口5,000円以上の拠出金を募って中学校配布分は資金を確保し、1万枚ほど予備を含めて印刷し、青少年健全育成関係の各クラブイベントでの配布ができるよう追加希望を受け付けています。(送料込で一枚5円)年度に関係なく利用できますので、ぜひ今後のクラブのアクティビティなどにもご活用いただければと思います。

地区環境保全委員会 現況報告

地区環境保全委員長 吉田 寛

昨年度に引き続き交通安全対策が今年度も取り込まれております。

交通安全に関してですが、期首にお願いをした「ストップ・ザ・交通事故」の啓発用マグネットシートをメンバーより 181 枚のご協力を頂き、交通安全への啓発並びに 335-A 地区の PR も兼ねてできたのではないかと思います。また、昨年末の交通安全防止チラシを PDF の形で全クラブに発信をしております。今年になって警察本部より「高齢ドライバーの交通事故防止対策」としてライオンズクラブへ協力依頼があり委員会で検討をしております。これに関しては決まり次第、何らかのご報告ができるのではないかと考えています。

環境保全に関しては、昨年 8 月 18 日に兵庫県農政環境部環境管理局水大気課環境影響評価室 室長 高石 豊 様を講師にお招きし、「兵庫県における大気環境の現況について」の研修を行いました。また、今期最後になる国際本部主催「環境保全写真コンテスト」に多くのご応募を頂きました。また、複合地区主催のコンテストも初の試みとして行った結果、こちらも多く作品が集まり感謝いたしています。

応募作品は 12 月 6 日キャビネット事務局に於いて、地区 3 役と当委員会で厳正なる審査を行い、国際本部主催には金賞として神戸中央 LC の L 岡野安雄「ペンギン繁殖地」銀賞には 3 点の作品が選ばれました。複合地区主催には稲美 LC の L 中嶋修市の「コスモス畑 ふれあい交流」が金賞に選ばれましたことを報告させていただきます。

地区アラート委員会 現況報告

地区アラート委員長 田中 操

昨年は、熊本地震から始まり、北海道、東北の水害、阿蘇山の大きな爆発による火山灰被害、鳥取の大地震とたて続きに発生してきました。いつ私達の地区内で発生するか分かりません。その為にも日頃の心構えが必要ではないかと考えています。2016年11月1日西宮市の防災訓練を見学し、災害時の「ボランティアセンター」開設の手順を学ぶことができました。

又、2016年11月25日「ひょうごボランティアプラザ」に於いて、「ひょうごボランティアプラザ」の職員による、熊本地震を参考にした、「大災害にそなえ、熊本地震災害等の被災地の現場から」をテーマに50数名の参加を得て講演して頂きました。災害発生時の受援計画が大切であると聞かされ、この講演を地域での取り組みの参考にして頂ける様願っています。

2017年1月17日に、22年前の平成7年に発生した「阪神淡路大震災」を忘れない「ひょうご安全の日のつどい」のイベントの一つ、神戸市立中央体育館出発の5kmのメモリアルウオークに参加し、風化しつつある思いを、思い起こして災害への心構えを深めて頂いた。

当日は、平日にも関わらず80名の皆様方の参加をいただき、寒さはありましたが、好天気の中、ライオンズクラブ100周年記念のぼり、またライオンズクラブロゴのぼりを掲げた行進は、災害への啓蒙活動のみならず、PRにもつながったと考えています。

2017年3月1日「ひょうごボランティアプラザ」にて、ボランティア活動支援関係団体連絡会議が実施され、災害発生時に心配されることは何かを、個人と事業所の両方ついて、ワークショップが実施されました。心配されることの多さに驚いたところです。これを参考にして、我々ライオンズクラブでは、何ができるのか、考えていかねばと考えています。

会員の皆様方には、ご理解と、ご協力に感謝しています。今後もよろしくお願ひ致します。

地区間交流特別委員会 現況報告

地区交流特別委員会委員長 永田 雅章

今期四回の委員会を開き、335-A 地区、335-D 地区それぞれの主催で交流会を開催した。両地区の現況は、両地区に分かれてから現在に至るまで会員数の減少に歯止めはかからず、今後 10 年を想定しても、将来の「合併」も視野に入れて交流を深めていくべきではないかというのが、委員会の一つの方向であった。しかしながら、335-D 地区と交流会を通して委員全員が感じた事は、D 地区にはまだその認識は薄く、具体的にはまだ交流を深めていく事が必要であるという点である。それと両地区全体の会員の意識の中に、10 年後を見据えて「合併」という選択肢があるかといえ、正直全く無いのが現状である。ただ委員会で検討を進めていく中で、全国でも珍しい一県で二地区の現状を是正していく事に、メリットも見えてきた。例えば、本来の目的であるアクティビティに於いても、兵庫県がひとつになれば、運営上やりやすくなる点も多く、外部への影響力も今よりは、大きくなる事も容易に想像が出来る。運営費に於いてもプラス要素は見えてくる。無論、問題点も出てくるかもしれない。

今後の委員会の活動としては、先ずは両地区間で進展した交流を更に継続していく事、それと様々な情報を提供して、地区内でも「合併」についての論議を始めていただく事が重要だと委員会において確認した。